

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業		担当部署	健康福祉部 保険課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	高齢者の医療の確保に関する法律 鳴門市特定健康診査等実施計画 鳴門市保健事業実施計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	20年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期	未定
(小項目)	社会保障					
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施				
基本事業	3	特定健診・特定保健指導の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ①特定健診の対象者は、国民健康保険の被保険者であって、40～74歳の者 ②特定保健指導の対象者は、特定健診受診者の内、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の方														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	特定健診を受診し、必要に応じて特定保健指導を利用することにより、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の方の生活習慣病予防や重症化予防を図る。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	第2期鳴門市特定健康診査等実施計画に基づき実施する。 広報など、テレビ鳴門のほか、あらゆる媒体を活用し、被保険者への健康意識の高揚を図る。 未受診者へのコールセンター方式による勧奨を行うとともに、事前に送付する受診勧奨通知について、受診意欲の高揚につながるよう内容の改善を図る。 巡回健診バスによる特定健診に頸部エコー検査、健康増進課所管のがん検診を組み合わせ、被保険者の利便性に配慮し、魅力ある健診とする。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診受診率</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	特定健診受診率	55	60	35	40	45	%
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
特定健診受診率	55	60	35	40	45	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	特定健診対象者に対して、7月に特定健診受診券を送付し、受診を促した。 広報など、他課イベント等各種媒体の活用、大型商業店舗でのPR、医療機関等に啓発ポスターの配布を行った。 年齢等から在宅率の高い曜日・時間帯を考慮したコールセンター方式による受診勧奨を実施し、接触機会の確保を図った。 また、事前に送付する受診勧奨通知を、年代等特性に応じた内容へと工夫を講じるなどし、健康意識・受診意欲の高揚を図った。 頸部エコー検査を組み合わせ巡回健診バスによる特定健診では、健康増進課所管のがん検診と同時実施を行った。また、新たに全国健康保険協会徳島支部(協会けんぽ)に属する被扶養者も健診対象に加え、相互協力による受診促進を図った。 保健事業実施計画及び第2期特定健診等実施計画の評価・検証を行い、次期計画を策定した。																																																					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度目標</th> <th>31年度目標</th> <th>32年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>特定健診受診者数</td> <td>3,129</td> <td>3,082</td> <td>3,896</td> <td>4,411</td> <td>4,496</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>特定保健指導利用者数</td> <td>225</td> <td>—</td> <td>288</td> <td>355</td> <td>396</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>特定健診受診率</td> <td>28.3</td> <td>28.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td colspan="2">47.7</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	活動指標							1	特定健診受診者数	3,129	3,082	3,896	4,411	4,496	人	2	特定保健指導利用者数	225	—	288	355	396	人	成果指標								特定健診受診率	28.3	28.6	—	—	—	%		目標達成率(実績/目標)	47.7		—	—	—	%
指標名	28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位																																																	
活動指標																																																							
1	特定健診受診者数	3,129	3,082	3,896	4,411	4,496	人																																																
2	特定保健指導利用者数	225	—	288	355	396	人																																																
成果指標																																																							
	特定健診受診率	28.3	28.6	—	—	—	%																																																
	目標達成率(実績/目標)	47.7		—	—	—	%																																																
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり																																																				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	14,061	11,061	0	0	32,795	57,917
		補正予算額	△ 1,862	△ 1,862	0	0	3,724	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	12,199	9,199	0	0	36,519	57,917
		決算額	11,084	9,199	0	0	8,008	28,291
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費	
	1.0	1.0		9,726		38,017		

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	28,766	28,291	36,596	39,525	42,909
	うち一般財源	7,341	8,008	16,170	16,885	18,171
	人件費	9,176	9,726	9,726	9,726	9,726
	総事業費	37,942	38,017	46,322	49,251	52,635

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		特定健診の受診率向上のために、勧奨手法等のさらなる工夫は必要である。
	効率性	B:概ね効率的だった		県下保険者での受診券作成の共同発注や特定保健指導の健康増進課への執行委任など経費削減等は図られている。
②成果に対する評価	指標名	特定健診受診率		受診率は微増したが、目標には届かなかった。
	目標	60.0	%	
	実績	28.6	%	
	評価	D:目標を達成できなかった		
③総合的な評価		C		目標には届かなかったことからC評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国民健康保険等各保険者に実施が義務化されているが、被保険者には義務化されていない制度である。生活習慣病は初期では自覚症状がないこと、現に生活習慣病治療中であっても健診対象となることなどから、受診の必要性が理解されにくい。 また、対象者の属性や受診歴等状況に応じたアプローチを行い、健康意識の醸成や受診行動を促す必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	巡回健診バスによる特定健診に頸部エコー検査と新たにPSA検査(前立腺がん検査)を付加し、健診内容の充実と男性利用者の拡大を図る。 コールセンター方式による受診勧奨において、オペレーターに専門職(保健師又は管理栄養士)を配置することで、健康相談の要素も兼ね備えたきめ細やかな受診勧奨を行い、対象者の行動変容を促進する。			
	H31年度	勧奨手法の研究、工夫を行い、さらなる受診率向上につなげたい。			